恒温振とう培養機仕様書

Ⅰ　仕様書概要説明

○調達の背景および目的

これまでに、国内の農耕地土壌から発生する温室効果ガス一酸化二窒素（N_2O）の発生状況とN2Oを発生する微生物の生態の関係について研究してきた。この原因微生物を制御しN2Oを削減するためには、これらの微生物の特徴を詳細に明らかにする必要がある。このためには様々な条件で微生物を振とう培養し、生育条件とN2O発生の関係を検討する必要がある。RP研究課題「農耕地における総合的な温暖化緩和策の定量評価」」を円滑に推進するためには、恒温振とう培養機が必要であり、本要求機を導入することにより飛躍的に実験効率が向上する。本機種は、多数サンプルを目的の条件に合わせて振とう培養することが可能な装置である。

Ⅱ　調達物品名及び構成内訳

恒温振とう培養機　　１台

Ⅲ　納入期限

平成２６年２月１４日

Ⅳ　納入場所

茨城県つくば市観音台３－１－３
独立行政法人　農業環境技術研究所

Ⅴ　技術要件の概要

本調達に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。

（１）　必須の要求要件は本研究所が必要とする最低条件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

（２）　入札機器の性能等が、技術的要件を満たしているか否かの判定は、本研究所内にて、入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提案資料の内容を精査して行う。

Ⅵ　技術的要求要件

（１）性能能に関する要件

1)　目的に応じて任意の振とう数に調節できること。
2)　振とう幅を無段階で設定できること。
3)　振とう方式を往復と旋回に切り替えできること。
4)　振とう台が2段になっており小面積で多数のフラスコを振とうできること。
5)　温度コントロール機能を搭載していること。

6) 振とう台にサイズのことなる三角フラスコや試験管、50ml遠心チューブを振とうできるよう種々のクランプを装着することができること。

Ⅶ　その他

（１）　納入時及び納入後の適切な時期に機器の取扱説明を十分に行うほか、使用者が取扱要領を取得するまで責任を持って支援するものとし、これに要する経費は供給者の負担とする。

（２）　障害時の連絡体制として、保守要員への連絡が電話、FAX、携帯電話、電子メールのいずれかの方法で確保できること。

（３）　国内主要都市にサービス部門を有し、障害発生時に速やかに復旧できる保守体制があること。

（４）　引き渡しから１年以内の製造者側に起因するハード的あるいはソフト的な故障については、供給者において無償での対応をすること。

（５）　装置の取扱説明書について、日本語のマニュアルを１部提出すること。